

社団法人 福島県臨床衛生検査技師会 会報

Echo

NO. 122 平成 15 年 8 月 1 日

発行：(社) 福島県臨床衛生検査技師会

〒960-1247 福島市光が丘 1 番地

福島県立医科大学附属病院検査部

発行責任者：比佐 哲夫

編集委員長 金子 隆子

TEL. 024-548-4290

平成 15 年度 (社) 福島県臨床衛生検査技師会総会並びに 第 35 回福島医学検査学会を終えて

5 月 24 日・25 日の両日、福島テルサホール・福島県立医科大学において平成 15 年度 (社) 福島県臨床衛生検査技師会総会並びに第 35 回福島医学検査学会が開催されました。お陰様を持ちまして、成功裏、無事終了しました。(写真；大花 昇大会会長)

尚、今回の参加者は、総会 151 名、学会 328 名でした。

5 月 24 日は「心臓病で死なないために一検診で異常を指摘されたら」と題し、大原



医療センター阿部之彦先生の公開講演から始まりました。この講演では、会員はもとより一般市民の方も一緒に、熱心に聞き入っていたようでした。

定期総会に先立ち、平成 15 年度表彰式が執り行われました。式では、功労賞 2 名、奨励賞 4 名、論文賞 1 名及び学術賞 1 名の方が表彰されました。受彰されました 8 名の皆様には、誠におめでとうございます。今後とも、更なるご活躍をご祈念申し上げます。引き続き定期総会に移り、全ての議案が満場一致で承認され、滞りなく終了しました。

懇親会は、少し離れた場所になってしまいましたが、福島ビューホテルで盛大に行われました。特に、余興

のジャズダンスでは熱心に見入っていた方も居らっしゃったようでした。とにかく、懇親を深めるには良い機会であったと思いました。

5 月 25 日は、朝早くから一般演題の発表、ランチョンセミナー、特別講演と続きました。

今回の一般演題の発表も、前年に引き続き PowerPoint を使用した、PC での発表形式を採用しました。多少無謀かとは思いつつも、演題受付は、あまり制限しないで行ってみました。応募演題は 35 題中 1 題がスライド発表で、34 題が PC 発表でした。何年か後には、そのすべての発表が PC になるような勢いを感じました。また、予想はしていたのですが、当日の発表内容の差し替え、及び、FD 発送期限の無視等の問題が担当の実行委員から報告がありました。これらの件については、今後、益々より良き学会にするためにも、新たなルール作りが必要ではないかと痛感しました。とはいえ、大きなトラブルも無く、一般演題の発表を、終えることができたのは、そこに同席していた座長、演者の方を始めとする参加会員皆様のご協力の賜物だと思っています。謹んで御礼申し上げます。

ランチョンセミナーでは、賛助会員のご協力もあり、食事をしながら有意義な講演を賜ることができました。ありがとうございました。学会の最後を飾るべく、「新世紀における臨床検査技師像 “Clinical Microbiologist”としての使命とその果たすべき役割

と題した、特別講演を東北大学教授の賀来満夫先生から賜りました。特に、世界中を賑わした SARS の話では、写真をスライドで紹介しながら現地の状況をお見せ頂いたりして、1時間30分がとても早く過ぎてしまった講演でした。何事も無かったように始まった特別講演でしたが、実は、先生のお持ちになられたパソコンが、講演直前になって突然フリーズ状態になってしまい、立ち上がらなくなってしまいうハプニングがありました。さらに、講演中も、熱で動きが悪くなってしまっていて、講演が途中で止まってしまいそうでした。

最後に、大きなトラブルも無く、盛会に、無事終えることができましたことは、会員、賛助会員及び、県技師会役員の方々のご支援のお陰と思っています。改めて、学会長はじめ、実行委員一同よりこの紙面をお借りしまして感謝するとともに学会のご報告と致します。(学会事務局長 藤野 高志記)



熱い思いを講演する賀来満夫教授

学 会 ア ル バ ム



総会でご挨拶する比佐会長



受付担当の県北支部の美男美女



一般演題で発表する益子さん (相双支部)
今年是一般演題 35題、34題が Power Point でした。



懇親会で紹介された今年度受賞者達

学会参加者 328名 (重複集計なし)
 県北 120名 県南 107名 いわき 31名
 会津 38名 相双 25名 学生 7名
 総会参加者 151名
 懇親会参加者 153名
 ランチョンセミナー 4講演

(社) 福島県臨床衛生検査技師会の
検査研究部門体制変更のお知らせ



学術担当常務理事 松本幸男

謹啓 時下 会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は「学術

部検査研究班活動」にご理解とご協力をいただきまして厚く御礼を申し上げます。

さて、(社)福島県臨床衛生検査技師会学術部検査研究班では、常々、臨床検査技術の資質向上と検査研究を目的として学術講演会、研修会、講習会などを企画運営し、会員の皆様のために鋭意努力しております。このような状況の中、日臨技では平成 14 年度より、東臨技では平成 15 年度より検査研究班体制を再編し、新たに検査研究部門体制をスタートさせ活動を行っております。日臨技・東臨技の組織体制変更に伴ない県技師会として、研修会受け入れ体制や連絡網の整備が急務であり、昨年よりの懸案事項である(社)福島県臨床衛生検査技師会の検査研究班体制変更の件について検討作業を進めてまいりました。ここに、その検討経過と結果をご報告いたします。

(社) 福島県臨床衛生検査技師会部門/分野委員会体制 表 1

検査部門	分野	分野体制に対応する旧検査研究班名
生物化学分析検査部門	1) 臨床化学検査分野	臨床化学検査研究班
	2) 免疫検査分野	免疫血清検査研究班
	3) 環境物質検査分野	(空席)
	4) 薬・毒物検査分野	(空席)
	5) 遺伝子検査分野	(関連分野に含める)
生理機能検査部門	6) 神経検査分野	生理検査研究班
	7) 機能検査分野	(神経検査と兼ねる)
	8) 画像検査分野	生理検査研究班
形態検査部門	9) 細胞検査分野	細胞診検査研究班
	10) 病理検査分野	病理組織検査研究班
	11) 一般検査分野	一般検査研究班
	12) 血液検査分野	血液検査研究班
	13) 染色体検査分野	(空席)
感染・免疫検査部門	14) 生殖医療検査技術分野	(空席)
	15) 微生物検査分野	微生物検査研究班
	16) ウィルス検査分野	微生物検査研究班が兼ねる
	17) 寄生虫検査分野	一般検査研究班が兼ねる
	18) 疫学検査分野	(空席)
	19) 輸血・移植検査分野	輸血検査研究班
検査総合管理部門	20) 検査管理運営分野	(新規人選)
	21) 検査精度管理分野	(空席)
	22) 検査機器管理分野	(空席)
	23) 情報管理分野	情報システム検査研究班

これまで、検討会議として平成 14 年 7 月に第 1 回検査研究班長会議、平成 14 年 12 月に第 1 回県技師会学術検査研究班(部門・分野)組織体制検討会議、平成 15 年 1 月に第 2 回検査研究班長会議を開催し、新しい検査研究部門体制の是非とその望ましい組織体制の再構築を検討し(案)を作成いたしました。先日(3月30日)行われました理事会で検査研究部門(案)がご承認いただきましたのでご報告いたします。また、この件は、先

日行われました平成 15 年度福島県臨床衛生検査技師会の定期総会にて議案報告をしてご承認をいただいております。

尚、この組織体制は県の体制変更であり、また、現在の支部体制との連動や混乱を避けることを考慮しまして各検査分野ごとの活動守備範囲を旧検査研究班活動に準じて運営していただく予定です。

つきましては、会員の皆様には新しい検査研究部門体制をご理解いただきますよう宜しくお願いいたします。また、新しい検査研究部門体制に対するご意見、ご提案をお待ちしております。お気軽に皆様のお声をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。(表 1)

福島県臨床衛生検査技師会検査研究部門(部門長・分野長)名簿

平成 15 年度担当

学術担当 松本 幸男 (財)太田総合病院附属太田熱海病院 表 2

検査部門	部門長	検査分野	分野長	施設名
生物化学分析検査部門	加藤 裕子			福島県立医科大学附属病院
		臨床化学検査	馬場 弘美	呉羽総合病院
		免疫検査	平野 常邦	福島県立南会津病院
生理機能検査部門	山寺 幸雄			(財)太田総合病院附属太田西ノ内病院
		神経・機能検査	石川 英昭	福島県立医科大学附属病院
		画像検査	風間 由美	(財)太田総合病院附属太田熱海病院
形態検査部門	田中 京子			福島県立医科大学附属病院
		細胞検査	森 菊夫	いわき市立総合磐城共立病院
		病理検査	柳沼 礼子	(財)総合南東北病院
		一般検査	菅野 英明	福島労災病院
		血液検査	松長 昌子	(財)太田総合病院附属太田西ノ内病院
感染・免疫検査部門	安田 広康			福島県立医科大学附属病院
		微生物検査	富沢 真澄	いわき市立総合磐城共立病院
		輸血・移植検査	宮森由美子	竹田総合病院
検査総合管理部門	増子 和之			寿泉堂総合病院
		検査管理運営	柴田 昭浩	かしま病院
		情報管理	橋本 修也	有隣病院

(社) 福島県臨床衛生検査技師会学術部検査研究部門(部門/分野)組織体制の概要

・新潟県を含む東北 7 県から東臨技部門委員(各県 5 名)が推薦された。福島県の部門委員は、東臨技と福臨技とを兼務する。また、部門委員(福臨技では部門長)は、日臨技・東臨技の窓口となり、分野長との連携を図る。

・各分野長は、当分の間、従来の検査研究班体制を基に活動を行う。23 分野の人は、無理に分野長を選ばず空席としておく。また、各分野に分野長（旧班長）、副分野長（旧副班長）を置く。（表 2）

・今後、日臨技、東臨技の検査研究部門体制の活動状況を判断して、福臨技の組織体制の再考を図ることとする。

・定款／諸規定に検査研究部門（部門／分野委員）の組織運営規程を定める。

支部便り（いわき支部）

華やかな花たちと 36 人の想い

いわき支部学術部長（小名浜生協病院） 帯施 晃
テーブルの上の華やかな花たちで飾られ、会議室はまるで結婚披露宴会場のような雰囲気に包まれた。花先が紫色で染められたトルコキキョウとピンクのカーネーションが、個性を出し合いながらも協調し主役を演じている。その周りにかわいらしいスーパーレディーが寄り添い、全体をまとめるようにレザーファンとゴットセシアーナが囲んでいる。中央のカーネーションの上は涼しげな風鈴の中で金魚が泳いでいる。37 人が創作した 37 個の花籠は自分が一番といった様子である。

いわき支部で初めて行われたフラワーアレンジメント教室、矢田先生の花への思いとお話から始まった。華道の経験はあるがアレンジメントは初めての人、全く初めての人、男性 2 人、緊張感あふれる会場には心地よいハサミの音だけが響き、参加者は真剣な面持ちでオアシスに花を活けていた。お互いのコミュニケーションがないくらいみなさん熱中していた。



これは矢田先生（アートフラワー一級装飾技能士）を指導者に 7 月 11 日金曜日の夕方 37 名が参加して行われたフラワーアレンジメント教室の様子です。（先生の他に 2 名助手さんも先生の手伝いに来てくれました）

教養、技師のコミュニケーションなどの目的はいろいろありましたが、「仕事を離れ、きれいな花を活けることに集中できて幸せな時間を過ごすことができました」

「基礎を学べば何でも応用できる（アレンジできる）こ

とがわかり、何事も基礎が大事だということを再認識しました。臨床検査も」などの感想が寄せられ大成功に終わった教室でした。（会費 2000 円也）

追伸：私の花は 2 週間食卓の上を飾ってくれました。////////定年退職後はフラワーデザイナー////////

第 11 回（社）福島県臨床衛生検査技師会 精度管理事業のお知らせ

☆タイムスケジュール

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1.案内書、申込書の発送 | 2003.8.18（月） |
| 2.申込書の締め切り | 2003.8.29（金） |
| 3.試料の発送 | 2003.9.16（火） |
| 4.結果報告の締め切り | 2003.9.26（金） |
| 5.集計結果の解析 | 2003.12.5.（金） |
| 6.報告書の発送 | 2003.12.19（金） |
| 7.精度管理事業報告会 | 2003.3.21（日）ビックパレット |

☆各検査部門の実施内容

生化学検査 酵素項目 8 項目

濃度項目 19 項目

血液検査 形態検査 スライドフォトサーベイ

凝固検査 PT APTT フィブリンゲン

輸血検査 血液型 抗体スクリーニング 抗体同定

交差適合試験 ケーススタディー

生理検査 心電図 心臓超音波（動画） 腹部超音波

細菌検査 同定、感受性

一般検査 フォトサーベイ

血清検査 感染症 仏ノグロブリン

☆価格 12000 円

☆精度管理事業事務局（精度管理結果報告の送り先）

〒960-8558 郡山市西ノ内 2-5-20

TEL024-925-1188

太田西ノ内病院 臨床検査部 遠藤 隆

生涯教育研修に関する報告

- 平成 15 年度事業計画
8 月 日臨技から「修了証書」が届く予定
9 月 「修了証書」を各人に発送
11 月 生涯教育委員および生涯教育登録担当者の合同会議
- 平成 15 年度生涯教育研修登録状況（2003.7.11 現在）
行事登録数 21
参加登録数 10

編集後記：最近、友人のお子さん（高校生）がアメリカ留学に出発した。彼は私に以前から「おばちゃん、俺、いつかアメリカ行くだ」と言っていた。「夢をこんなに早く実現したんだと思うと感動させられてしまった。私はいつからか、夢を持たないで過ごしていたことに気が付き、今からでもいい、「夢」を描こうという気になって来た。元気をもらえて感謝だ。T.K